

News release (日本語版仮訳)

スイス・リー、2018年上半期の好調な決算を発表: 損害保険引受の業績が改善し、一部の保険料収入が伸びたことが下支えとなり、純利益10億米ドルを計上

- 2018年上半期のグループ純利益は10億米ドル、総収入保険料は8.0%増の196億米ドル
- 新しい米国会計基準が業績に負の影響を及ぼすも、変更前の会計基準では純利益が12億米ドルと前年同期と同水準
- 損害再保険事業の純利益は38%増の7億5200万米ドル、コンバインド・レシオは92.9%、株主資本利益率は14.5%
- 生命・医療再保険事業の純利益は3億9800万米ドル、総収入保険料は15.2%増の74億米ドル、株主資本利益率は11.5%
- コーポレート・ソリューションズの純利益¹は市場環境の緩やかな改善を背景に49%増の5800万米ドル、総収入保険料は18.5%増、株主資本利益率は5.0%
- ライフ・キャピタルは総キャッシュフローが8億4800万米ドルと好調で、総収入保険料は18億米ドルに増加、株主資本利益率は1.1%
- 投資収益率は2.6%で、米国の新会計基準による負の影響を受けたものの、変更の影響を除くと投資収益率は3.0%、直接利回りは2.9%
- 損害再保険事業の契約更改の結果、7月の更改も含めると、年初来の保険料収入の伸びは9%、適正料率は2%上昇
- スイス・リーは、2019年にReAssure事業の新規株式公開(以下、IPO)を行うことを検討

チューリッヒ、2018年8月3日 – スイス・リー・グループ(以下、スイス・リーまたはグループ)は、2018年上半期の純利益が10億米ドルとなったことを発表しました。大規模災害の発生がそれほど多くなかったことや、保険引受収益が改善したことがプラスとなりました。2018年上半期のグループの株主資本利益率は6.3%でした。米国の新会計基準の影響を除くと、グループの株主資本利益率は7.7%と推定されます。総収入保険料は8.0%増の196億米ドルでした。主に、生命・医療再保険事業全体の保険料収入の伸びが要因です。スイス・リーは非常に強い資本基盤を維持しており、資本管理上の優先事項に集中し続けながらも、市場機会に対応することができる十分な態勢を整えています。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「市場環境が徐々に回復してきていると見て間違いのないと思います。当社も、特に損害再保険事業において収益性と引受の業績が改善しており、今期の好調な業績は、多角化された当社の事業

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171


New York
Telephone +1 914 828 6511

Singapore
Telephone +65 6232 3302

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

¹ デリバティブ形式の商品の保険料も含むが、再保険事業部門の内部フロンティングの分は差し引く。

構成の価値を示すものであると感じています。グループ全体として成長できたことについても嬉しく思っています。」

スイス・リーは 2018 年上半期のグループ純利益として 10 億米ドルを計上し好調
スイス・リーは 2018 年上半期、2018 年 1 月 1 日付で発効した株式投資の認識および評価に関する新しい米国会計基準の悪影響があったものの、10 億米ドルの純利益を計上しました。この会計基準の変更により、2018 年上半期の純利益について税引前で推定 2 億 6500 万米ドルの負の影響がありました。変更がなかったと仮定した場合、半期の純利益は 12 億米ドルと想定されます。この変更は遡及的に適用されないため、今年初めから実施されているこの基準では、今年度と過年度の業績の比較が限定的になります。参考までに、推定される会計基準の影響を除いた 2018 年上半期の業績を以下に掲載します。

同半期のグループの株主資本利益率は 6.3%で、同投資収益率は 2.6%でした。いずれも 2018 年の会計基準変更の影響が反映されています。新しい米国会計基準の影響を除いた場合、株主資本利益率は 7.7%、同じく投資収益率は 3.0%になると推定されます。利息収入の直接利回りは、会計基準変更の影響を受けず 2.9%と安定しました。

同半期の総収入保険料は 8.0%増の 196 億米ドルでした。生命・医療再保険事業とテイラーメイド取引の伸びに後押しされました。

普通株主資本は、2018 年 6 月 30 日の時点で 301 億米ドルに減少しました。普通株 1 株当たりの簿価は、配当金および自社株買いの形で 23 億米ドルを株主へ還元した後、2018 年 6 月末時点で 97.21 スイスフランまたは 97.92 米ドル（2017 年 12 月末時点では 103.37 スイスフランまたは 106.09 米ドル）となりました。

スイス・リーの資本基盤は非常に強い状態が続いており、資本管理上の優先事項に集中し、市場機会への対応を続けながら、一方であらゆる逆風をしのぐことのできる十分な態勢を維持しています。また、2018 年 5 月 7 日に開始された買入価額 10 億スイスフランを上限とする現行の自社株買いプログラムは順調に進んでいます。

スイス・リー・グループの最高財務責任者であるジョン・デーシーは次のように話しています。「これまでにお知らせした通り、当社の業績は依然として、米国会計基準の変更による変動が大きくなっています。しかし、この変更に合わせて調整した場合でも、当社の業績には、特に損害保険の引受実績において収益性の質の向上が明らかに現れています。さらに、当社の投資業績は質の高いポートフォリオを維持していることを示しており、これは安定的な直接利回りによって実証されています。当社の資本基盤は引き続き充実しており、今後もあらゆる厳しい状況に立ち向かう態勢が整っています。」

引受実績の回復を反映する損害再保険事業の業績

2018 年上半期の純利益は 7 億 5200 万米ドルでした。大規模災害が少なかったことを背景に、引受の実績が好調だったことが後押しとなりました。

同期の株主資本利益率は 14.5%、コンバインド・レシオはこの半年で 92.9%に改善しました(前年同期は 97.4%)。大規模損失がなかったこと、過年度の事故発生状況が良かったことが改善に貢献しています。

2018 年上半期の総収入保険料は、為替レートの有利な動きを反映して 1.8%増の 96 億米ドルとなりました。

7 月の損害再保険特約の更改ではボリューム、料率ともに上昇

主に米国に集中した 7 月の損害再保険特約の更改を受けて、スイス・リーはポートフォリオの質を高めました。適正料率は 2%改善しましたが、この料率の上昇は損害の影響のあった財物損害保険で最も大きく、その他のポートフォリオや地域の大部分でも緩やかな上昇が見られました。年初来で、再保険特約の保険料ボリュームは 9%増の 144 億米ドルとなりました。スイス・リーは、魅力的な経済的利益を生むセグメントへの資金配分を継続しました。7 月の更改後、ポートフォリオのリスク調整後の適正料率は 104%に改善し、年初来では 103%となっています。

生命・医療再保険事業は引き続き好調な業績と収益力のある成長で、株主資本収益率は 11.5%

2018 年上半期の純利益は、アジアおよび EMEA 地域の引受業績が改善したことが下支えとなったものの、米国において保険金請求件数が季節要因により増加した影響を受け、3 億 9800 万米ドルとなりました。前年度には、株式売却による実現利益の増加も含まれていました。結果的に、上半期の株主資本利益率は 11.5%でした。金利収入の直接利回りは、2017 年度と同様の 3.3%と安定していました。

上半期の総収入保険料は 15.2%増の 74 億米ドルで、前年同期よりも 10 億米ドル増加しました。この業績にはグループ内での再々保険契約のプラスの影響とアジアおよび EMEA 地域における成長のほか、為替レートの有利な変動が反映されています。為替変動の影響を除いた場合、増加は 11.2%となります。

コーポレート・ソリューションズは緩やかな改善傾向にある市場環境の恩恵を受け、元受保険事業が後押しとなり保険料収入も大きく伸びる

同事業部は 2018 年上半期に、5800 万米ドルの純利益を計上しました。この業績は大規模な自然災害による損失が減少したこと、前年度に業績が改善したことの恩恵を受けましたが、人災による損害増加によって部分的に相殺されました。業績は引き続き、特に昨年度を中心とする過年度に引き受けた契約の影響を強く受け、2018 年上半期のコンバインド・レシオは 101.7%となりました。同期の株主資本利益率は 5.0%でした。

総収入保険料²は 18.5%増の 20 億米ドルとなりました。主に元受主幹事引受事業の伸びが後押しとなったもので、戦略的投資の成果が徐々に始まっています。

料率のほか、契約条件も前年度の自然災害の発生以後改善しており、損害を受けた案件では 1 桁台後半の料率上昇があったものの、料率環境は引き続き厳しい状況が続いています。

コーポレート・ソリューションズは、2018 年上半期も元受主幹事引受能力に対する投資を継続しました。独自のテクノロジープラットフォームを通じて同事業部が現在保険を提供することのできるようになった企業は、国内外の企業それぞれ 18 ヶ国と 9 ヶ国にまでなりました。現在、コーポレート・ソリューションズのグローバルネットワークは 80 ヶ国以上に及んでいます。

同事業部はドイツのハンブルクに事業所を開設することで拠点の拡大を続け、大企業および優良中堅企業に対するサービスの提供に注力しました。さらに、コーポレート・ソリューションズは 2014 年より業務展開しているメキシコにおいても、新たに開設した現地子会社を通じて元受保険を提供する認可を取得し、その存在感を高めました。

ライフ・キャピタルは異例の総キャッシュフローを実現し、総収入保険料も好調な伸び 確定利付債券の売却による正味実現利益、株式の時価評価の影響、直接経費の減少が要因となり、2018 上半期は 3400 万米ドルの純利益となりました。株主資本利益率は 1.1%でした。

同事業部は上半期間に 8 億 4800 万米ドルという異例の総キャッシュフローを生みましたが、ReAssure の持分 5% を MS&AD に売却した際の売却益、2017 年のソルベンシーII の対応完了がその要因となりました。

ライフ・キャピタルは第 2 四半期中、スイス・リー・グループに対して 11 億米ドルにのぼる多額の配当金支払を実施しました。

総収入保険料は 2018 年上半期に大幅に増加し、18 億米ドルとなりました。これは iptiQ EMEA 向けの大口医療再保険取引を含む、個人および団体の両方のオープンブック事業の伸びによるものでした。

ライフ・キャピタルは、英国のクローズドブック市場の中で買収機会を厳選して探っていく一方、欧州および米国において個人向けおよび団体向けの生命・医療再保険事業の拡大に対する取り組みを続けていきます。大きなキャッシュフローを生みながら、オープンブック戦略への投資も継続していく予定です。

2017 年 12 月に発表されたリーガル & ジェネラル社との取引は、ライフ・キャピタルの 2018 年上半期の決算にリスク移転契約の名目で計上されています。第 7 次とな

² 参考用。金融商品の認識および評価に関する新しい米国会計基準の影響を除いていた数字。これは 2018 年 1 月付で当グループに適用されたもので、遡及的な適用はない。

今回の移転は 2019 年中旬に完了する見込みで、現在は規制当局の承認待ちです。

スイス・リーは、ReAssure 事業の IPO を 2019 年に行うことを検討

スイス・リーは、2019 年に英国におけるクローズドブック事業 ReAssure の IPO を行う可能性を検討しています。以前にスイス・リーが発表し、MS&AD 社による ReAssure への投資で示されたとおり、クローズドブック取引を一層進めていくために第三者資本を確保することは、すでにスイス・リーの戦略の一部となっています。中期的な潜在的市場機会の規模を考慮すると、ReAssure 事業がより多くのクローズドブックを獲得していくために、大規模な新規資金へのアクセスを確保することが重要です。スイス・リーのスイス・ソルベンシー・テスト自己資本比率に関する枠組みのもと、ReAssure の資産集約型事業には資産リスクに係わる大きな自己資本が必要とされます。それでもやはり、スイス・リーにとってクローズドブックの市場統合は魅力的な成長分野であり、スイス・リーは ReAssure における超投資家であり続ける予定です。

検討段階である ReAssure の IPO が確実に実行される保証はありません。また、この IPO に関する時期、条件、仕組み、IPO³に伴うスイス・リーの持分を含むすべての詳細は確実なものではありません。本件は今後、時機に応じて発表してまいります。

低炭素経済への移行をサポートする

環境・社会・ガバナンス(ESG)投資ベンチマークを保険・再保険業界に導入したパイオニアとして、スイス・リーは 2017 年 7 月、投資判断の中に ESG 基準を体系的に取り入れることを発表しました。それから 1 年が経過し、スイス・リーは ESG ベンチマークに経済的な合理性があることを確認し、現在では ESG 基準を当社投資ポートフォリオのほぼ 100%で導入しています。

さらに 2018 年 7 月、スイス・リーはグループのサステナビリティ・リスク・フレームワークの不可欠な部分として、サーマルコールに関する方針の実施を開始しました。この新しい方針の下でスイス・リーは、投資の観点から設定された許容範囲に沿って、サーマルコールに対するエクスポージャーが 30%以上ある事業者への保険・再保険の提供を中止します。これは、炭素に関連したサステナビリティリスクの管理に対するスイス・リーのアプローチを研鑽し、低炭素経済への移行を支援するためのさらなる一歩です。サーマルコールに関する方針策定の決断は 2015 年の「パリ行動誓約」に対するスイス・リーのコミットメントに基づくもので、当時スイス・リーは、地球温暖化を産業革命以前の水準よりも 1.5°C~ 2°C 高い水準に抑えるための努力にコミットすることに強く賛同しました。

³ ReAssure の最終持ち株会社である Swiss Re Ltd. が ReAssure の過半数株主でなくなった場合、Swiss Re Ltd は Swiss Re ReAssure Limited (IPO 後は ReAssure グループでなくなる予定)の債券を保証する予定。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「スイス・リーと保険・再保険業界全体にとって刺激的な変化の時代が到来しています。人口動態が変化するのに伴い世界各地でリスクプールが拡大し続けており、当社では今後に大きな機会があると見ています。同時に、技術が保険・再保険のバリューチェーンを根本的に変えていこうという確信に変わりはありません。リスクプールに対するアクセスを拡大することは、長期的な観点から当社の成長の鍵となります。その実現のために、当社ではリスクに関する知識を応用し、お客様と協力して、より多くの人に保険がいきわたる手助けとなるソリューションを開発するために技術を活用していきます。」

年初来業績の詳細(2017年上半期 vs 2018年上半期)

		2017年 上半期	2018年 上半期	2018年 ⁴ 上半期
グループ連結 (総額)	総収入保険料(百万米ドル)	18 145	19 589	
	純利益(百万米ドル)	1 211	1 006	1 215
	株主資本利益率(年率%)	7.0	6.3	7.7
	1株あたり利益(米ドル)	3.76	3.24	
	投資収益率(年率%)	3.5	2.6	3.0
	直接利回り(年率%)	2.9	2.9	
	普通株主資本(百万米ドル)	34 373	30 051	
損害再保険	総収入保険料(百万米ドル)	9 404	9 570	
	純利益(百万米ドル)	546	752	789
	コンバインド・レシオ(%)	97.4	92.9	
	純営業利益率(%)	10.0	13.0	
	投資収益率(年率%)	3.0	2.1	
	株主資本利益率(年率%)	9.1	14.5	15.2
生命・医療再保険	総収入保険料(百万米ドル)	6 399	7 372	
	純利益(百万米ドル)	432	398	416
	純営業利益率(%)	11.2	9.9	
	投資収益率(年率%)	4.2	3.6	
	直接利回り(年率%)	3.4	3.3	
	株主資本利益率(年率%)	12.7	11.5	12.0
コーポレート・ ソリューションズ	総収入保険料(百万米ドル)	1 745	2 043	
	純利益(百万米ドル)	39	58	65
	コンバインド・レシオ(%)	104.5	101.7	
	純営業利益率(%)	2.4	3.8	
	投資収益率(年率%)	3.4	2.2	
	株主資本利益率(年率%)	3.6	5.0	5.6
ライフ・キャピタル	総収入保険料(百万米ドル)	932	1 841	
	純利益(百万米ドル)	143	34	23
	純営業利益率(%)	13.9	5.2	
	投資収益率(年率%)	3.4	3.4	
	株主資本利益率(年率%)	4.0	1.1	0.7
	総キャッシュフロー(百万米ドル) ⁵	532	848	

⁴ 参考用。金融商品の認識および評価に関する新しい米国会計基準の影響を除いていた数字。これは2018年1月付で当グループに適用されたもので、遡及的な適用はない。

⁵ 総キャッシュフローとは、目標とする自己資本を超えて利用可能な剰余資本金の変化のことを指す。目標自己資本とは、最低限の法定資本金にライフ・キャピタルの資本管理方針によって要求されている追加資本金を加えたもので、MS&ADホールディングスが保有するReAssureの15%の持分は考慮されていない。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通じて取引を行う顧客基盤は、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界60カ所以上で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、メインスタンダードに基づきスイス証券取引所に上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト (www.swissre.com) をご覧いただくか、または Twitter で ([@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)) をフォローしていただきますようお願いいたします。